

会長のちょっとチャット

藤井 昭

最近のテレビ天気予報は若い美人の気象予報士が出演して楽しく見っていますが、時に気になる表現もあります。それは気象図を指しながら「等圧線が混んでいるので強い風が吹く予想です。」などと言うことです。これ少しおかしいと思いませんか。うるさい老人と言われるのを覚悟で言いますが、強風の原因は気象図の等圧線にあるわけではなく、因果関係は逆に、「強い風が吹くので、等圧線は混みあっているように表わされています。」が正しいですね。

近年は情報があふれかえり、どんなものでも知識として(たとえ誤っていても、一面的でも)与えられないものはない、という時代です。生々しい現実よりも、それを加工したデータとしての情報や映像のほうが真実だと錯覚したり、情報として存在しないことが起きると理解できず、甚だしきは無かったことにする人もいます。いまや生物としての人間は衰えていっているのでしょうか。「等圧線」は情報にすぎず、等圧線がなくても「強い風」は吹いています。

私は家で音楽CDを聴くことを楽しみにしていますが、CDも「加工された情報」のひとつです。やはり演奏会へ足を運んで、生で見て聴いて、生きた「現実」を体感しなければ人間として衰えていくのではないかと心配です。以上、かなり強引な「我田引水」でした。

♪ 音楽こぼれ話あれこれ ♪

ファウンダー 佐藤 宏

《ステージマン(舞台人)の悲哀と喜び》

オーケストラプレーヤーは文字通りステージマンであるし、一般の職業の方から見れば、かなり変わった職業と言える。先ず喜びの方から。演奏が上手いとき、この場合の上手くは、オーケストラとしても又自分(個人)としても会心の出来だった時は、それこそどんなもんだい!といった大感張りたくなるような浮かれた気分になるが、反対に失敗をしたり上手いかなかった時は、それこそメンバーの方々は元よりお客様にも目を合わせられない程落ち込むものである。実際演奏上の悩みで自ら生命を絶ててしまった方は意外に多いのである。ステージは日々動きがある生きものと言えよう。

バレエのダンサーがステージで肉離れや骨折することも珍しい事ではなく、骨折したにも関わらず、その公演は踊り続けねばならない事もある。実際、有名な国際的ダンサーが公演の最中で骨折したにもかかわらず、お客様にはそれと気付かせない程度で終演まで踊られたこともあった。

また私が約半世紀昔、朝比奈隆氏率いる大阪フィルハーモニーに、同じころ入団オーディションに合格したトランペット奏者のG君は試用期間中のある日、トランペットの難所を一人で吹かされて上手くできず、その場で解雇されたことも思い出す。現在なら考えられない事であるが、当時は明治生まれの封建社会で育った方々が牛耳っていた時代で、私がこの世界に入るとき、師匠から「甘くないぞ!我々は親の死に目にも会えないんだからな!」と諭されていたものだった。事実、大フィル時代、奥様が亡くなった日に本番のステージに乗ったトランペット奏者の先輩を見て胸が苦しくなったものだ。私自身も父親の死の日も当然のように本番のステージに出たが、心の中では父に「親不孝をお許しください」と詫言ったものだった。

Topics

名古屋市民芸術祭2014「特別賞」授賞

当楽団コンサートマスター古井麻美子とピアニストの桑野郁子が企画、演奏する「室内楽集アンティアーモ ラヴェル ～音の魔術師～ 室内楽全曲演奏会 最終夜」が名古屋市民芸術祭特別賞を受賞しました。ラヴェルの室内楽を全4回にわたり全曲演奏する企画。音楽に真摯に向きあう姿勢と企画力の高さ、変化に富んだプログラムでラヴェルに多面的な光をあて、高い評価を得ました。

古井は「室内楽は一緒に音楽を創りあげる時間を共有する仲間がいて、初めてその喜びを感じることが出来ます。今回の受賞にあたり、その仲間と、またサポートしてくれる家族に感謝を伝えたいと思います」と受賞の喜びを笑顔でお話してくれました。



お客様の声

ニューイヤーコンサートご来場のお客様から

1月10日(土)サラマンカホールでのコンサート演奏・内容とても良かったです。また、今日終演後ロビーで中部フィルのCDを購入しているところ丁度楽団員の方が通りがかりに「有難うございます。」とお礼の言葉をかけていただき、楽団員の方を益々応援したくなるような気持ちが湧いてきました。私ごとですが自分も会社の小さな部署で人を管理していますが、お客様に対してのみならず、同僚・仲間・役員や多くの人に対して素直に「有難うございます」の一言がなかなか言えない事が多い中、今日の楽団員の方の「素直で自然な有難うございます」久しぶりに私の心に残る言葉でした。音楽を演奏する人も、聴く人も「素直で自然」こんな気持ちが一体となった時に感動が生まれると思います。これからも中部フィルハーモニー交響楽団のコンサートに足を運びますので、素敵な演奏をお願いします。(一般)

社会貢献活動「第25回定期演奏会」へご招待の子供達から

・ご招待していただき、本当にありがとうございました!! 目をつぶって聴いていたら自分がその中で演奏しているような感覚で、曲の感じが伝わりすっごくかんどうしました。これからはがんばってください。(中学3年) ・私達を招待していただきありがとうございました。今日聴いた曲はどれも素晴らしかったです。生で聴いたのは今回が初めてで、すごい迫力のある演奏でとても驚きました。音楽の力はすごいなあと感じました。人を感動させたり、人の心を大きく揺らす力があって素晴らしいと思います。私もオーケストラの方々みたいになりたいかみんなの憧れになれる、そんな人になりたいと考えています。また機会があったら聴きに行きたいです。(中学2年)

中部フィルだより 第26号

発行日 2015年3月3日
発行所 NPO法人 中部フィルハーモニー交響楽団
〒485-0041 小牧市小牧二丁目107(市民会館内)
TEL:0568(43)4333 FAX:0568(43)4334
http://www.chubu-phil.com/

編集後記

もうすぐ4月、気持ちがグッと春になった気がします。卒業、入学、就職、転職、etc. 色々な「節目」になるのも春ですね。みなさまの今年の「節目」は如何でしょうか。中部フィルも2月に創立15周年の節目の年を迎えました。記念演奏会「マーラー復活」も本番まで残り2か月!合唱団のリハーサルや公演の準備も着々と進んでいます。本番では皆様と最高の時間を共有できたらと思います。



第26号

発行日 2015年3月3日

NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団

中部フィルだより

2015年度自主公演ラインナップ

創立15周年・秋山和慶 指揮生活50周年記念演奏会 マーラー「復活」

チケット好評発売中!!

5/17(日) 15:00開演 (会場) 愛知県芸術劇場コンサートホール



[指揮] 秋山 和慶



[ソプラノ] 澤畑 恵美



[アルト] 林 美智子

チケット料金

プラチナ席:8,000円
S席:5,000円
A席:4,000円
B席:3,000円
C席:2,000円
学生:1,000円

Program

マーラー:交響曲第2番八短調「復活」

[合唱] 中部フィル創立15周年記念合唱団

第47回定期演奏会 (名古屋公演 第8回)

6/27(土) 14:00開演 (会場) 三井住友海上 しらかわホール

チケット料金

特別席:5,300円 指定席:4,300円
自由席:3,300円 学生:1,000円
※学生は自由席のみ

会員先行予約 3月11日(水)~3月18日(水)

チケット販売 3月25日(水)



[指揮] 秋山 和慶



[ソプラノ] 小林 沙羅

Program

モーツァルト:「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」K.165(158a)
マーラー:交響曲第4番ト長調

第48回定期演奏会 (犬山公演 第8回)

11/14(土) 15:00開演 (会場) 犬山市民文化会館

チケット料金

特別席:5,300円 指定席:4,300円
自由席:3,300円 学生:1,000円
※学生は自由席のみ

第49回定期演奏会 (松坂公演 第8回) 11/15(日) 15:00開演 (会場) クラギ文化ホール

会員先行予約 7月24日(金)~7月31日(金)

チケット販売 8月19日(水)



[指揮] 堀 俊輔



[ヴァイオリン] 漆原 啓子

Program

チャイコフスキー:幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲二長調Op.35
チャイコフスキー:交響曲第6番口短調Op.74「悲愴」

ニューイヤーコンサート~音楽の福袋第5弾~

2016. 1/9(土) 14:00開演 (会場) サラマンカホール

チケット料金

特別席:5,300円 指定席:4,300円
自由席:3,300円 学生:1,000円
※学生は自由席のみ

会員先行予約 9月30日(水)~10月6日(火)

チケット販売 10月7日(水)



[指揮] 堀 俊輔

Program

第1部 ドヴォルザーク:交響曲第9番短調Op.95「新世界より」
第2部 フルツ万歳!
「美しく青きドナウ」「皇帝円舞曲」他、世界のワルツ大集合!

第50回定期演奏会 (小牧公演 第26回)

2016. 2/7(日) 14:00開演 (会場) 小牧市市民会館ホール



[指揮] 秋山 和慶 [ピアノ] 務川 慧悟

Program

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調Op.18
ラフマニノフ:交響曲第2番ホ短調Op.27

チケット料金 特別席:5,300円 指定席:4,300円
自由席:3,300円 学 生:1,000円
※学生は自由席のみ

チケット販売 11月4日(水)

オーケストラの日 第13回ファミリーコンサート

2016. 3/27(日) 15:00開演 (会場) 小牧市市民会館ホール



[指揮] 竹本 泰蔵

映像提供:株式会社プレントラスト

Program

第1部:「春爛漫のオーケストラ」～音楽の豪華詰め合わせ!
第2部:「アニメ・コンチェルト」～映像と一緒にオーケストラサウンドを!
「ピーターと狼」「ピアノコンサート」

チケット料金 特別席:5,300円 指定席:4,300円
自由席:3,300円 学 生:1,000円
未就学児: 500円 ※学生・未就学児席は自由席のみ

会員先行予約 12月2日(水)～9日(水)

チケット販売 12月16日(水)

最近の演奏会から

チケット完売! 岐阜ニューイヤーコンサート

清々しい新春を迎え「ニューイヤーコンサート～音楽の福袋第4弾～」が1月10日(土)に岐阜サラムカホールで開催され、新年早々たくさんのお客様にご来場いただきました。コンサートの前半は当楽団アーティストック・アドバイザーの池辺晋一郎先生を迎え、本邦初となる作曲者ご本人の指揮で自作の「交響曲第九番」を聴いていただきました。ソリストにはソプラノに幸田浩子さん、バリトンに宮本益光さんお二人のオペラ界のスターをお招きしました。

後半はガラリと趣を変えて、ヘルベルト・フォン・ホリヤンこと堀俊輔先生、池辺先生、ゲストに岐阜県美術館長の古川秀昭さんを迎えての「音楽喫茶Da.Giare(ダ・ジャール)」を舞台に、ニューイヤーらしい華やかなプログラムと初笑いをお届けしました。前半に引き続き幸田さんと宮本さんにもご登場いただき、美しい歌声でお客様を魅了しました。そして池辺先生指揮で「独眼竜政宗のテーマ曲」で華々しくエンディングを迎えました。

この公演はチケット発売開始から好評で、12月14日にはチケットが完売するという満員御礼で、中部フィルでは初めての「大入り袋」が配られるなど、大盛況のうちに幕を閉じたニューイヤーコンサートでした。創立15周年を迎える新たな年の始まりに幸先の良いスタートを切ることができました。中部フィルのニューイヤーにお越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



第25回定期演奏会

森 清泉(ヴァイオリン)

こんにちは、2ndヴァイオリン奏者の森 清泉です。

中部フィルに初めて指揮者の広上淳一さんを迎えての、第25回定期演奏会、楽しんでいただけましたでしょうか。

練習3日、ゲネプロと本番。広上さんは毎日、毎回とてもパワフルで舞台上は熱く、そしてチャームングさを兼ね備えた会話で、音を重ねると共に初対面という垣根が取り外されていくようでした。

練習初日、広上さんは指揮棒の他に鍵盤ハーモニカを持って登場されました。「のだめカンタービレ」のマンガースを想起させるアイテムです。鍵盤ハーモニカは指揮台横にある椅子の上に置かれ、指揮棒を取り出されました。指揮棒が上がります。どんな音が出るのか、出したらいいか、緊張が走ります。音が鳴り始めます。ああ、そうなのか。納得し始めると、ばらついてきた音はまとまり始め、一つに凝縮されていきます。音楽が流れ始めます。シベリウス交響曲、ハイドン交響曲。舞台がほどよく温まり始めた頃、鍵盤ハーモニカが取り上げられました。もうそれはすでに意識の外に置かれていた物でした。広上さんはまるで当然のように楽器を操り、音の確認や細かい音色のニュアンスを指示します。管楽器奏者が負けじとそれに反応していたような……。とても自然に使いこなされるので、鍵盤ハーモニカは当たり前そこにあっていました。「おいしいお酒を器に盛るのを想像してみてください。緑からタラリ、タラリと、こぼれそうでこぼれないような状態を……」これは広上さんが指示した音のイメージです。その時のお酒を飲む仕草がとてもおいしそうで、音を作るたびにおいしい日本酒を飲みたくなってしまう困りました……。

シベリウス、ヴァイオリンコンチェルトでは小林美樹さんが、その美しさと素敵な音色で会場を魅了しました。それは力強い音色でした。一月は頭の中で鳴っているようです。フィンランドの味わい、少し寒くなってきましたね。鍋でも食べて温まりますか。



中部フィルNEWS ～最近の出来事～

コンサートフラッグ

コンサートフラッグが皆様をお迎えします

1月10日(土)「ニューイヤーコンサート(岐阜)」で、中部フィルのコンサートフラッグが初めてお客様をお迎えしました。開場に先立ち、コンサートのお手伝いをしていただいた理事様、コアサポーターの方々と旗開きの記念撮影を行いました。この旗には、楽団のカラーである緑の生地に白抜きでゴシック体で「ようこそ 中部フィルのコンサートへ」と記されていて、来場のお客様ひとりひとりに、中部フィル関係者全員からの感謝の気持ちをお伝えするものです。

受付付近で来場のお客様をお迎えするコンサートフラッグは、これからわたしたちの感謝の気持ちを表し続けます。



新春サックスコンサート

1月11日(日)小牧市公民館講堂にて、サックスコンサートを行いました。

サックスコンサートは、日頃ご支援いただいております皆様に感謝の気持ちを込めて、中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員が企画・演出する無料のコンサートです。通常は4、5人によるアンサンブルでのコンサートが多いのですが、今回は楽員会長の呼び掛けもあり、約30人編成でのコンサートになりました。また、このコンサートの趣旨にご賛同いただいた正指揮者堀俊輔先生が指揮とお話しで参加くださいました。

会場で準備してあった椅子250席が満席となり、50人をこえる立ち見のお客様もほどの大盛況でした。楽員会長の望月さんが「オーケストラを伴奏に、満員のお客様と歌った『翼をください』はとても感動的でした。このコンサートをやってよかった、と思う瞬間でした。できれば第2弾、第3弾と続けていきたいです」とコメントしてくれました。



スポーツコラボ 第2弾

小牧シティマラソン開会式にて演奏とチラシ配布

1月25日(日)冬晴れの絶好のコンディションの中で、第25回小牧シティマラソン大会が行われました。当楽団の金管五重奏が開会式前のBGMと、大会委員長でもある山下史朗小牧市長ご出席の中、開会式のスタートを飾るファンファーレを演奏し会場に花をそえました。

今回は昨年5月の「全国サッカースクール交流会」に続いて第2回目のスポーツコラボでしたが、大会には過去最高の5647人がエントリーされていて、たくさんの参加者を前に大会を盛り上げ、ランナーを鼓舞する演奏が出来ました。

今後もスポーツコラボを通して、いろんな方に中部フィルを知っていただき、当団の活動フィールドを拡大するきっかけになればと思います。当日の早朝には、大勢の参加者に中部フィルの公演を知ってもらえる絶好のチャンスと考え、コアサポーターの方々が会場の「パークアリーナ小牧」の入り口付近で、演奏会のチラシを配布してくれました。



第25回定期演奏会へのご招待

当楽団は社会貢献活動の一環として、演奏会へのご招待を行っています。

2月1日(日)に開催しました第25回定期演奏会では、社会福祉法人愛知県共同募金会様を通じて、社会福祉施設や高齢者福祉施設に入所されている児童・お年寄りなど46名様をご招待し、生のクラシック演奏をお楽しみいただきました。

今後もこのような活動を積極的に続けてまいります。



ファンと楽団員の交流会

宮澤 香(オーボエ)

2月1日(日)の定期演奏会後に楽団員とゴールドサポーター、コアサポーター、学生フレンズの方々と交流会が催されました。楽器体験コーナーでは、皆さん積極的に体験に挑戦して下さい、僅かな時間でしたが楽器に触れて頂くことができました。

続いては、当日指揮をして下さった広上淳一先生が、鍵盤ハーモニカの演奏で参加して下さり(この鍵盤ハーモニカ、実は私たちのリハーサルの時も先生自身の音楽を表現する手段として使われていたんです!)、弦楽四重奏と我らがホリヤンこと堀俊輔先生指揮という超豪華な伴奏で、「ふるさと」を合唱。しかもなんの練習もなく2部合唱で! 市民会館のロビーに素敵な歌声が広がりました。

最後はビンゴ大会! メーカー様、楽器店様のご協力、そして広上先生、当日のソリスト小林美樹さんのサインなど景品多数で皆さんにしっかりお土産をゲットして頂き、会を終了。

今後も年1回の交流会を企画して参ります。ぜひ次回もご参加頂き(新規の参加ももちろんお待ちしております!)、また1人でも多くの方に音楽を身近に感じて頂けたら幸いです。

